

令和7年度 椎葉村立松尾小学校 自己評価書

(4段階評価)

4 期待以上

3 ほぼ期待どおり

2 やや期待を下回る

1 改善を要する

■ 学校経営ビジョン

「やさしい子ども かしい子ども たくましい子ども 笑顔いっぱい松尾小」

- 1 学校生活(学習)を楽しむ・・・児童が笑顔になり、主体的・対話的で深い学びをしながら、たくましく生きていくための力を身に付けていく学校
- 2 仕事を楽しむ・・・教員が笑顔になり、切磋琢磨しながら「教師力」を向上させることができるチームとしての学校
- 3 協力を楽しんでいただく・・・学校支援体制が確立され、家庭や地域の方々が、笑顔で惜しみなく児童の健全な育成に向け、協力してくださる安心・安全な学校

■ 学校の教育目標

「心豊かでたくましく、確かな力を備えた児童の育成」

評価項目	評価指標	結果の考察・分析及び改善策等	自己 評定	学校運 営評議 会評定	学校運営協議会 評価コメント
子どもたちが安心して学べる環境づくり	○スクールワイド PBS の手法を取り入れた指導の充実 ・学校全体で共通した行動目標の設定 ・行動支援計画をもとに児童の実態に応じた支援の工夫	○スクールワイド PBS の取組を通して、学校全体が一体となって指導にあたる体制が整い、教職員間での共通理解のもと、指導がしやすくなったと実感している。また、児童のあいさつや姿勢といった基本的な生活習慣にも変化が見られ、1 学期には「あいさつ」、2 学期には「立腰」に焦点を当てて取り組んだことで、子どもたちの行動に明らかな変化が表れた。  ○ほめる機会や称賛の場が増えたことで、児童と教師との関係がより良好になり、児童同士も互いを認め合う雰囲気や育まれてきた。定期的なフィードバックや、宮日新聞「若い芽」への投稿・掲載といった外部への発信も、児童の自信や意欲につながっている。今後も、改善したい行動を事前に共有しながら、児童のよさを引き出す指導を継続していきたい。	3. 6	3. 4	○授業中の児童の様子を見ていたが、確かに児童の姿勢が良いなど感じたところです。あいさつに関しては、集団でいるときはみんな元気にあいさつしてくれるなど感じますが、個人になると、まだできない子もいる感じがしますので、そこを家庭や学校の指導で伸ばせるといいのかなと感じています。  ○学校全体が一体となり、先生方が指導しやすくなったと実感していることを評価したい。  ○教職員間での指導がしやすくなったという実感が得られたことは、指導の充実の観点からもとても良い結果だと思う。  ○子どもたちが安心して学べることで、ポジティブな行動が増えることを期待しています。(先生達の QOL 向上につながれば幸いですね。)
指導力の向上	○「ひなたの学び」の定着 ・『な』の充実に向けた工夫 ○へき地研究会に向けての研究の充実 ・お互いに認め合い、高め合える児童の育成	○今年度の実践を通して、児童の意識や学びに対する姿勢に少しずつ変化が見られた。特に「松尾っ子トーク」や「松尾っ子タイム」の取組を通して、自分の思いや考えを伝え合い、互いを認め合う姿勢が育まれてきたことは大きな成果である。へき地特有のガイド学習や指名なし討論のよさを生かした授業づくりにより、児童が安心して意見を出し合える環境が整い建設的な話し合いが日常の中に根付きつつある。  ○研究主任の計画に基づき、計画的に研究授業を実施できたことや、「ひなたの学び」の“な”(＝仲間とともに)を意識した授業づくりを行えたことも、へき地研究会の成功につながったと感じている。一方で、授業の中で児童に委ねる場面が多くなりすぎたことから、知識を的確に教える場面と、児童が自由に考えを表現する場面とのバランスを見極める必要性も感じた。  ○今年度の成果を一過性のものとせず、継続的に取り組むことで、児童の表現力や対話力をさらに高め、学びの中で自然に多様な「技」が活かされるような授業づくりを目指していきたい。	3. 2	3. 3	○松尾っ子トークなどの取組は、すばらしいと感じました。児童達で意見を出し合い、みんなで課題等を解決していく姿勢は、児童達にとってすばらしい取組だと思います。  ○「松尾っ子トーク」、「松尾っ子タイム」の取組を通して、自分の思いや考えを伝え合い、それを認め合う姿勢が育まれてきたことはすばらしいことだと思います。今後も続けてほしい。  ○まつおっ子便りに掲載されていた「キーホルダー」の数の問題に対して、児童達で話し合い、歩み寄り、納得のいく結論が出せたことは、とてもすばらしいことだと思います。(松尾っ子トーク)

<p>指導力の向上</p>	<p>○椎葉村ユニット学習の推進 ・ICT 活用により、きめ細やかな個別指導の充実</p>	<p>○ユニット学習や日常の授業において、ICT を積極的に活用することで、児童の興味関心を高める効果が見られた。特に、ロイロノートを活用したアンケートの実施や給食委員会での活動など、実践的な場面での活用が効果的であった。</p> <p>○定期的に ICT に関する校内研修を実施し、教職員のスキル向上を図ることができた。しかし、研修で得た知識や技術を実際の授業に十分に生かされていない場面も見受けられ、今後は研修内容と実践のつながりを意識した取組を進める必要がある。</p> <p>○今後は ICT を単なる道具としてではなく、学びを深める手段として位置づけ、より効果的な活用方法を共有・検討しながら、授業改善につなげていきたい。</p>	<p>3. 2</p>	<p>3. 3</p>	<p>○ICT 活用については、現代社会にとって必要だと思いますので、どんどん学習に取り組んでほしいと感じます。</p> <p>○ICT の活用力は、高めていくことが必要だと思います。今後も継続して指導をお願いします。</p> <p>○ICT を単なる道具として捉えない考え方は、今後急速に拡大するであろう「AI」のある生活の中でも、児童の健全な育成を継続できる大切なものだと感じました。</p>
<p>保護者・地域との連携</p>	<p>○学校運営協議会の充実</p>	<p>○運営協議会では、松尾小や松尾地区における課題や改善点について意見が交わされており、地域の声を直接受け取ることができる貴重な機会となっている。地域と連携しながら学校づくりを進めていくうえで、協議会での意見交換は大きな意味を持っており、教育活動の改善に積極的に反映していきたい。</p> <p>○児童数減に伴う今後の学校の在り方について保護者に意見を聞くことができた。今後これを大切な意見として捉え、学校運営協議会で継続して協議していく必要がある。</p>	<p>3. 6</p>	<p>3. 7</p>	<p>○学校運営協議会については、松尾小の今後を考える上でとても重要であり、今後も地域と一体となって松尾小をより良い学校にしていく上で、とても重要だと思います。</p> <p>○学校運営協議会には積極的に参加したいと思います。</p> <p>○今後も保護者を中心にPTA 活動の充実をお願いしたい。</p> <p>○学校運営協議会では多面的な視点で様々な意見交換ができており、充実化が図れていると思う。</p>
	<p>○日頃の学校の様子の見える化 ・保護者と児童のよさの共有</p>	<p>○学校通信や学級通信、ほけん便りなどを通して、児童の日々の様子や学校での活動を保護者や地域に伝える「学校見える化」が着実に進められた。特に、学級通信では児童の成長や教師の思いをこまめに発信することができ、保護者とのつながりを深める一助となった。</p> <p>○学校通信については、計画的に発行することができ、宮日新聞「若い芽」の紹介などを通じて、地域の方々にも児童の活躍を広く知ってもらう機会となった。一方で、内容が行事紹介に偏る傾向も見られたため、今後は児童のよさやがんばりをより積極的に取り上げるような内容づくりを意識していく必要がある。</p> <p>○今後も、様々な通信やホームページを通じて、児童の姿や学校の取組を丁寧に発信し、保護者や地域とともに子どもたちの成長を支える環境づくりを進めていきたい。</p>	<p>3. 6</p>	<p>3. 7</p>	<p>○学校通信で、子供達の学校生活の様子がよく分かり、とても学校見える化ができています。</p> <p>○①出来なかったことが出来るようになった ②苦手なことを克服できた③まだ出来ないけど頑張っている様子 など頑張っているところを紹介するのも、プライバシー上問題がなければ見てみたいという思いはあります。</p> <p>○宮日の若い芽は、楽しみにしています。</p> <p>○学校通信で子供達の様子が分かり楽しみです。</p> <p>○各種通信を見ている、年間を通した行事において、世代を超えた連携が図れていたと思う。</p>

<p>ふるさとを愛する心の育成</p>	<p>○椎葉村学の充実</p>	<p>○今年度は、地域や保護者の協力を得ながら、松尾ならではの体験活動や伝統文化学習、交流学習を継続的に行うことができた。特に、3・4年生による方言学習では、治敏さんの協力のもと、椎葉の言葉や文化に触れる貴重な機会となり、児童が地域への理解を深めるきっかけとなった。</p> <p>○本年度も神楽の学習を行うことができた。これからも継続して行えればと思う。</p>	<p>3. 6</p>	<p>3. 7</p>	<p>○椎葉村学については、子供達が地元の松尾地区を大切に思うことにつながると思うので、大切な学習だと思えます。</p> <p>○今年から、特に参観日や行事に地域の人へ参加を呼びかけて、子供達の学校での様子を見てもらったり、行事と一緒に参加してもらったりする活動は、とても良かったと思います。</p> <p>○神楽のタベでは、すばらしい舞を見ることができました。</p> <p>○それぞれの学習を通して、子どもたちの地域への思いが感じられる取組であり、今後も継続してほしいし、地域全体で盛り上げてほしい。</p> <p>○椎葉村学をはじめとして、地域の方や保護者が学校の教育活動に積極的に参加していることはすばらしいと思う。特に松尾地区のよさを生かした取組は、これからも大切にしてほしい。</p>
	<p>○地域の方々に開かれた学校</p>	<p>○本年度は、地域の方々とのつながりを大切にしながら、学校行事や活動への参加を呼びかけてきたが、参加が難しい場面も見られた。今後は、広報の方法やタイミングを工夫し、より多くの地域の方々に学校の取組を知ってもらえるよう努めていく必要がある。一方で、「やまびこ放送（オフトーク）」を活用した情報発信では、地域への周知が効果的に行えた場面もあり、今後の広報手段としての可能性を感じた。また、松尾地区の人々と直接ふれあう活動を通して、子どもたちのふるさとへの愛着や地域への誇りが育まれていることを実感している。</p>			<p>○広報に関しては、子供達にも参加してもらって招待状を出してみたり、オフトークで子供達の声で広報したりしてみたら、少しは効果が出るような気がしています。</p> <p>○老人会活動の中にオープンスクールの参加を取り入れました。網投げの練習等でつながりをもちたいと思います。</p> <p>○過去の協議会で意見が出た、オフトークの活用が効果的に行っていた。（「オフトークで言いよったもんね」という地域の方の声はよく聞きましたよ。）</p>